

広島大学インキュベーション研究拠点  
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点  
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」  
第10回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。

教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】2016年6月16日（木）17：00～18：30

【場所】総合科学研究科 講義室 J204

【演者・講演内容】山中章弘（名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野2 教授）

視床下部神経による睡眠覚醒と記憶の制御メカニズム

視床下部の神経は、摂食・飲水行動、性行動、睡眠覚醒調節などの本能行動の発現に極めて重要な役割を担っている。近年開発された光遺伝学や薬理遺伝学などの特定の神経活動を操作する技術を用いて、本能行動がどのように調節されているのかが分かってきた。本セミナーでは、これらの技術を用いて睡眠醒や記憶がどのように制御されているのかについて最新の研究内容を紹介したい。

【問合せ】小川 景子（総合科学研究科 行動科学講座 内線6580）

\*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。